



優位眼（利き目）

利き手や利き足があるように「**利き目**」という言葉があります。医学的には**優位眼**と言いますが、右目が優位眼であることが多いようで、70%の人は右目優位だという報告もあります。自分の優位眼を知る方法ですが、片手で○を作って、遠くの指標を見てください。それぞれ片目を閉じて見たときに、手で作った○から指標が外れなかった目が利き目（優位眼）です。

優位眼を知ることは、老眼矯正時のCL処方、白内障術後の眼内レンズの度数決定などに関係します。

優位眼を遠くが見えるように、非優位眼を近くが見えるように合わせます。

眼精疲労で左右差がある場合にも優位眼を知ることが大事になります。

ぜひ、ご自分の利き目がどちらか試してみてください。



乱視矯正

乱視は眼球の形状によって強い人、弱い人がいます。多少の乱視であれば、矯正の必要はありません。**眼鏡であれば、 $-1.00D$ 以上の乱視は矯正の目安になります。**CLの**矯正で $-0.75D$ 以上の乱視**がある場合にはトーリックレンズ（乱視用）を使用するか検討したほうがよさそうです。

当院でのCL処方

初めてCLを装用希望する方は検査で問題ないことを確認の上、提携しているカナイ眼鏡を紹介しています。すでにお使いで、トラブルなく処方箋のみ欲しい方、目のデータが知りたい方も対応しております。お気軽にご相談ください。

LINEお友だち登録

10月31日現在で
401名の方にお友だち登録をしてもらっています。

